

あかつかやま

2015 年 2 月 No. 55



春日野（紅白の花をつける品種の梅）

CONTENTS

・ 特 集	平尾小学校区の白川と西古瀬川の生き物	浅香智也 2
・ 付 録	発見！あかつかやま	4
・ 園長の散歩道	21 年の歩み③	清川民啓 5
・ イベント	梅まつり・写真展・ちょこっといいいん	6

特集

平尾小学校区の白川と西古瀬川の生き物

1. はじめに

当園では、主に豊川水系の魚類を展示していますが、時々、佐奈川、音羽川、御津川などの水系に生息する生き物について、質問をいただくことがあります。当園には、豊川水系の魚類調査を行った報告はありますが、他河川の生き物の調査の報告はありません。そこで今回は、2年連続で行われた平尾小学校の出前授業「生き物調査」の結果をまとめました。

(※ 出前授業とは、当園職員が小・中学校へ出向いて学習を支援する活動です。)

2. 調査方法

生き物調査を行った場所は、豊川市西部を流れる音羽川支流の白川と西古瀬川です(図1)。調査地点は、白川が St.1 (東名高速道路から約 300m 上流; 写真1) と、西古瀬川が St.2 (田中橋; 写真2) です。両河川は同じような環境ですが、白川が礫地で、西古瀬川が泥底です。また、河川の流れの速さを比べると、白川のほうがやや速く流れています。調査年月日は、白川が 2013 年 5 月 23 日、5 月 27 日、2014 年 6 月 13 日の 3 日間、西古瀬川が 2013 年 6 月 5 日、6 月 10 日、2014 年 6 月 25 日の 3 日間でした。どの日も採集時間は 1 時間ほどで、各調査地点の約 50m 区間を平尾小学校 3 年生の生徒 44 名が、河川に入りタモ網やサデ網などで採集を行いました。採集を行った後に当園の飼育員が、生き物の同定を行いました。

3. 採集の結果

確認できた生き物は、表1のとおりでした。その内訳は、白川が魚類6種、両生類3種、昆虫類8種、甲殻類2種、貝類4種、蛭類1種の計24種でした。また、西古瀬川が魚類10種、爬虫類1種、昆虫類5種、甲殻類1種、貝類4種の計21種でした。両河川を合わせると34種の生き物が確認できました。しかし、このうち白川のタイリクバラタナゴとウシガエル、西古瀬川のタウナギ、両河川のアメリカザリガニとスクミリンゴガイの5種は、外来生物です。白川と西古瀬川では、似たような生き物が採集できました。しかし、西古瀬川ではヌマムツ、モツゴ、タモロコ、ドジョウなどの比較的緩やかな流れを好む生き物がみられました。

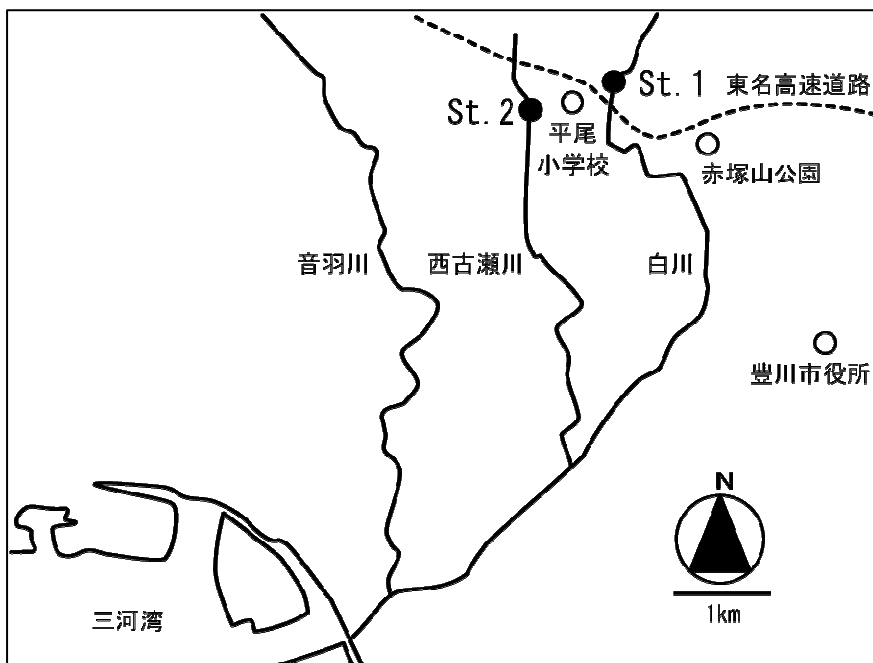


図1. 白川と西古瀬川の略図



写真1. 白川の風景



写真2. 西古瀬川の風景

表 1. 平尾小学校区の白川と西古瀬川の生物相

			白川	西古瀬川
魚類	コイ科	タイリクバラタナゴ <i>Rhodeus ocellatus ocellatus</i>	○	
		オイカワ <i>Opsariichthys platypus</i>	○	○
		カワムツ <i>Candidia temminckii</i>	○	○
		ヌマムツ <i>Candidia sieboldii</i>		○
		モツゴ <i>Pseudorasbora parva</i>		○
		タモロコ <i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>		○
		カマツカ <i>Pseudogobio esocinus esocinus</i>	○	○
	ドジョウ科	ドジョウ <i>Misgurnus anguillicaudatus</i>		○
	タウナギ科	タウナギ <i>Monopterus albus</i>		○
	ドンコ科	ドンコ <i>Odontobutis obscura</i>	○	
	ハゼ科	カワヨシノボリ <i>Rhinogobius flumineus</i>	○	○
		トウヨシノボリ <i>Rhinogobius</i> sp. OR		○
両生類	アカガエル科	トノサマガエル <i>Rana nigromaculata</i>	○	
		ウシガエル <i>Rana catesbeiana</i>	○	
	ヌマガエル科	ヌマガエル <i>Fejervarya kawamurai</i>	○	
爬虫類	スッポン科	ニホンスッポン <i>Pelodiscus sinensis</i>		○
昆虫類	カワトンボ科	ハグロトンボ <i>Calopteryx atrata</i>	○	○
	サナエトンボ科	ヤマサナエ <i>Asiagomphus melaenops</i>		○
	オニヤンマ科	オニヤンマ <i>Anotogaster sieboldii</i>	○	
	ヤンマ科	コシボソヤンマ <i>Boyeria maclachlani</i>	○	
		クロスジギンヤンマ <i>Anax nigrofasciatus nigrofasciatus</i>	○	
		コオニヤンマ <i>Sieboldius albardae</i>	○	
	エゾトンボ科	コヤマトンボ <i>Macromia amphigena amphigena</i>	○	○
	トンボ科	シオカラトンボ <i>Orthetrum albistylum speciosum</i>	○	○
	ゲンゴロウ科	ハイイロゲンゴロウ <i>Eretes sticticus</i>	○	
	ガムシ科	ヒメガムシ <i>Sternolophus rufipes</i>		○
甲殻類	ヌマエビ科	ミナミヌマエビ <i>Neocaridina denticulata</i>	○	
	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ <i>Procambarus clarkii</i>	○	○
貝類	リンゴガイ科	スクミリンゴガイ <i>Pomacea canaliculata</i>	○	○
	タニシ科	ヒメタニシ <i>Sinotaia quadrata histrica</i>		○
	カワニナ科	カワニナ <i>Semisulcospira libertina</i>	○	○
		チリメンカワニナ <i>Semisulcospira reiniana</i>	○	
	シジミ科	マシジミ <i>Corbicula leana</i>	○	○
蛭類	イシビル科	シマイシビル <i>Erpobdella lineata</i>	○	
合計種数			24	21

4. おわりに

今回の生き物調査では、名前や分類が分からず結果に含めていない生き物がいます。それは、白川のトビケラ類（昆虫類）や西古瀬川のユスリカ類（昆虫類）とヨコエビ類（甲殻類）です。これらは1種ではなく、複数の種が含まれている可能性もあります。また、子供たちが、その時の興味や人気のある生き物に採集が集中することも分かり、採集の場所や方法に偏りがありました。今後も生き物調査を行えば、新たな発見があるかもしれません。そして、郊外である平尾小学校区まで外来生物の進入が見られたことは残念でした。現在、川に入って生き物を採集する子供たちの姿は、あまり見られなくなりました。しかし、今回の調査では子供たちが、元氣よく生き物を採集する姿を見ることができ嬉しくなりました。飼育員 浅香智也

付録 発見! あかつかやま

さかな編 ^{へん} ～ いきものさがしパズル ～

たくさんの もじのなかに ぎょぎょランドにいる いきものたちが
かくれています。さがしてみよう!

れい:

ウ	サ	ギ
マ	ア	シ
シ	ヤ	ギ

ルール: タテ・ヨコの もじのなかから
さがして ○でかこもう。



むずかしさ ★
4しゅるい

ア	イ	ク	ザ
ユ	ギ	サ	リ
サ	ワ	ガ	ニ
コ	イ	メ	ダ

ア	ホ	ン	ノ	ニ	ゴ	イ
カ	ワ	ム	ツ	ホ	ワ	カ
ハ	ワ	カ	マ	ン	ゴ	レ
ラ	ム	ナ	オ	ウ	ウ	ー
イ	モ	ト	イ	ナ	マ	ズ
モ	ツ	ゴ	カ	ギ	ギ	ン
リ	ロ	ラ	ワ	ン	ー	ダ



むずかしさ ★★★
8しゅるい

(こたえは、 まどぐちに よういして あります。)



園長の散歩道

21 年の歩み③

みなさん、こんにちは。赤塚山公園園長の清川民啓です。新しい年も、既に1ヵ月半が過ぎました。月日の経つのを早く感じる年齢になりましたが、一日一日を大切にしていきたいと思っています。

さて、今号は、先号のぎょぎょランドに続いて、水の広場（流水広場）・市民のスクエア（多目的広場）・花見広場について順次説明をします。水の広場は、昨年の8月にNo.52で紹介しましたので割愛をさせていただき、市民のスクエア・花見広場について紹介をいたします。

市民のスクエアは、赤塚山公園の一番東端に位置しており、グラウンド面積 10,350 m²で、照明塔 6 基（200 ルクス）・野外ステージ・更衣棟を有する多目的広場で、赤塚山公園唯一の有料施設です。この広場は、音楽会や町内会の行事等、お申込みいただければ、対応をさせてもらえる使い勝手の良い施設ですが、現在のところサッカー場として一番多くご利用いただいております。大人のサッカーの試合から、小学校に入学する前の小さな子どもたちのサッカー教室まで、年齢にかかわらず幅広いご利用があります。利用を希望される方は、ぎょぎょランド事務室（0533-89-8891）までお問合せ下さい。

花見広場は、ぎょぎょランド東側の園路を北側に登った所にあります。面積 4,000 m²の広場に桜の木（ソメイヨシノ）が 31 本植栽されており、春ともなればこれらのサクラが一斉に開花します。又、園内には、花見広場以外にもウスズミザクラやシダレザクラが植えられていますので、桜の季節には是非園内を散策していただき、ご覧いただきたいと思います。

なお、花見広場はその昔、地元市田町内の運動会や県内から同地内に集められた「牛の綱引き」の会場として利用されたそうです。赤塚山は、当時の市田町のみなさんに、里山として愛され、利用されていたことが分かります。（次号に続く）



開園当時の市民のスクエア



現在の市民のスクエア



開園当時の花見広場



満開の花見広場

イベント

梅まつい

期間：2月1日～3月8日

毎週土日祝日に物産展を行う予定です。



みんなの写真展

機関誌表紙写真展も同時開催！

期間：2月4日～3月2日

場所：ぎょぎょランド2F ロビー



ちょこっとしいくいん

日時：3月25、27、30日

4月1、3日（春休みの月・水・金曜日）

午後1時30分～2時



場所：アニアニまある 対象：4才～小学6年生 定員：各回10名

当日午後1時15分から「アニアニまある」にて受付。先着順。

幼児でもできる簡単な内容で、ポニー・ロバの部屋の準備、エサ作りを体験します。

行事・イベントの報告

平成26(2014)年12月～

平成27(2015)年1月

12/1・2 全国飼育のつどい in 飯田市動物園

12/15 防災訓練

12/15 ポニー・ロバ削蹄

12/17～1/12 企画展「干支の生き物」

12/17 展示生物採捕(オイカワ・カワムツ)

12/17・19梅ボランティア10人

梅の木の剪定作業

12/20 職場インタビュー

愛知教育大学附属岡崎中学校

1年生1人

12/28 「落ち葉で遊ぼう」終了

1/3～1/12 絵馬を書こう

1/11 第46回赤塚山公園セミナー

「フェルトボール作り」19人

1/3～1/31 写生展

1/15～2/2 特別展示「イモリモリモリ

～イモリのあかちゃん～」

動物取扱業に関する表示

氏名又は名称：豊川市長 山脇 実

登録番号：動東第119号

事業所の名称：豊川市赤塚山公園

登録年月日：平成18年9月28日

事業所の所在地：愛知県豊川市市田町東堤上1-30

有効期限の末日：平成28年9月27日

動物取扱業の種類：展示

動物取扱責任者：前田 民男

編集・発行

あかつかやま No. 55 2015/2/15

豊川市赤塚山公園

〒442-0862 豊川市市田町東堤上1-30

TEL(0533)89-8891 FAX(0533)89-8892